

## 《2020 年度社会貢献事業》

### (1) 公開講座の実施

1976 年に開講した土曜教養講座は、2020 年度で 45 年目を迎えました。本講座は、時宜に適した多彩なテーマを扱った一般公開講座で、地域社会における実践的研究、教育、研究活動などの成果を、大学を媒体として地域社会に拡大発展させることを目的としています。2020 年度も前年度に引き続き子どもの貧困をテーマにしたり、学科の特色を出した講座、包括連携協力協定を締結している中小企業家同友会との企画等、多様な公開講座計画していましたが、コロナ禍により開催回数が減り、また感染予防の観点から Zoom を利用したオンライン講座へと切り替えて開催をしました。さらに本講座以外にも、(株)セブン-イレブン・沖縄との共同主催で「売場の科学」(全 4 回) もオンラインで開催しました。

### 2020 年度 土曜教養講座等開催一覧 開催回数：3 回

開催日	タイトル	参加人数
4 月 18 日 ※中止	第 571 回土曜教養講座 ※新型コロナ感染拡大予防の為中止 オリンピックを考える ～スポーツと天皇制～ 【講師】 鶴飼哲 (一橋大学大学院言語社会研究科名誉教授) 西泉 (沖縄大学人文学部国際コミュニケーション学科准教授)	/
1 月 23 日	第 572 回土曜教養講座 コロナの影響から子どもをどう守るのか 【講師】 黒田華 (琉球新報社編集局社会部) 新垣綾子 (沖縄タイムス学芸部暮らし班記者) 島袋隆志 (沖縄大学経法商学部経法商学科教授)	55 人
2 月 20 日	第 573 回土曜教養講座 ひきこもりをどう捉え、どう支援していくのか 【講師】 谷口仁史 (認定 NPO (特定非営利活動) 法人 スチューデント・サポート・フェイス代表理事) 又吉嘉例 (沖縄タイムス社会部北部報道部記者) 藁目崇 (認定 NPO (特定非営利活動) 法人 侍学園スクオーラ・今人沖縄校 校長)	78 人
2 月 27 日	第 574 回土曜教養講座 次世代教育について語り合う part4 自己変革からはじめる新しい生活 ～マインドフルネスで心の健康を保つ方法～ 【講師】 デイリープ・チャンドララル (沖縄大学名誉教授) ウダヤギリィ・ダンマシリ (広島大学大学院 院生) ナット・マハウィタナゲ (スリジャヤワルダナプラ大学医学部上級講師) 須藤義人 (沖縄大学人文学部こども文化学科准教授)	44 人

「売場の科学」開催一覧

講師：渡辺 隆之（沖縄大学客員教授、エムアイディ・ラボ代表） 開催回数：4回

	開催日	テーマ	参加人数
1	9月4日	売れるお店は大きい店とは限らない	66人
2	10月2日	面白くなければ決して売れない	56人
3	11月6日	安売りをするから売れなくなる	34人
4	12月4日	購買心理を知れば売り方が変わる	43人

## (2)「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」（小学生・中学生・高校生向け講座） 開催講座数：17講座

	開催日	実施時間	実施校	講座名	担当講師
1	7月21日	9:05～ 9:55	那覇国際高校	語学力を活かした職業（英語キャリア入門）	伊藤 丈志（国際コミュニケーション学科准教授）
2	8月19日	9:15～ 10:05	北山高校	どうして勉強しなくてはいけないの？	宮城 能彦（こども文化学科教授）
3	10月6日	13:50～ 14:40	北山高校	18歳で成人！どうなるの！？	岩垣 真人（経法商学科准教授）
4	10月21日	15:50～ 16:40	那覇高校	「働くということ」「ブラックバイトと高校生・大学生」★	春田 吉備彦（経法商学科教授）
5	10月29日	9:15～ 10:45	沖縄水産高校	何のために働くの？—自分はどうな仕事に向いているのだろうか—	宮城 能彦（こども文化学科教授）
6	11月11日	13:50～ 14:40	北山高校	沖縄で働く or 県外で働く あなたはどっち？	春田 吉備彦（経法商学科教授）
7	11月18日	15:50～ 16:40	那覇高校	「日本的」な働き方・働かせ方って？★	石川 公彦（経法商学科准教授）
8	11月19日	10:20～ 13:10	中部農林高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城 健二（福祉文化学科教授）
9	11月26日	10:00～ 11:00	陽明高校	沖縄編 わかもの”食べごと”わたしのからだ想い student's 弁当	逸見 幾代（管理栄養学科教授）
10	12月3日	9:15～ 10:45	沖縄水産高校	ベトナムのストリートチルドレン—どんな子どもたち？—	吉井 美知子（国際コミュニケーション学科教授）
11	12月16日	9:15～ 10:45	沖縄水産高校	目標を達成するには、コツがある！	石原 端子（福祉文化学科准教授）
12	12月16日	9:35～ 10:20	宮森小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛（管理栄養学科教授）
13		10:35～ 11:20			
14	12月24日	11:10～ 12:00	那覇高校	会社という仕組み★	谷口 友一（経法商学科講師）
15	2月9日	10:20～ 12:10	中部農林高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城 健二（福祉文化学科教授）

16	2月18日	12:40～ 13:30	那覇西高校	①英語のTVコマーシャルから異文化社会を考える。(時事英語入門)	伊藤 丈志 (国際コミュニケーション学科准教授)
17		13:40～ 14:30		②現代英米文化事情 (国際コミュニケーション入門)	

### (3) 沖縄子ども調査事業 (未就学児調査) の実施 (受託事業)

NPO法人沖縄県学童・保育支援センターと本学で事業共同の協定を結び、沖縄県より「沖縄子ども調査事業 (未就学児調査)」を受託しました。同事業は沖縄県の子どもの貧困対策を効果的に実施する上で必要となる、就学前の子ども及びその保護者の生活実態や支援ニーズ等を把握する事を目的とし、1歳児の保護者 10,000 人及び、5歳児の保護者 4,500 人を対象に調査を実施しました。

### (4) 「子どもの貧困ソーシャルワーク研修」の実施 (受託事業)

「那覇市と学校法人沖縄大学との包括連携協力に関する協定書」に基づき、2016年度より沖縄大学と那覇市が協力して、子どもの貧困対策に取り組む支援員を育成することを目的に開始した受託事業です。2017年度からはさらに豊見城市も参加し、現在まで続いています。活力のある個性豊かな地域社会の形成と発展のために、支援員として必要な知識及び技能を習得すべく毎回平均して那覇市から 10 名、豊見城市から 4 名が研修を受けました。

### (5) 教員免許状更新講習の実施

沖縄大学では、社会人教育の一環として、教員免許状更新講習を実施していますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、2020年度開設科目について、全日程が中止となりました。

#### ※教員免許状更新講習について

文部科学省の認可を受けて、教員免許更新講習の必修領域 (6 時間受講必須)・選択必修領域 (6 時間受講必須)・選択領域 (18 時間以上受講必須) を開設。講習を通して、教員に求められ

る最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解をより深めていただくことを目指しています。

#### 2020年度 教員免許状更新講習<開設科目一覧>

【全日程中止】新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、2020年度開設科目の全日程を中止。

領域	開催日	講座名	担当講師	受講者数
必修	8/8 ※中止	教育の最新事情 (6 時間)	池間 生子 吉川 麻衣子 嘉数 健吾	
選択必修	8/10 ※中止	教育の情報化と ICT の授業での活用 (6 時間)	八幡 幸司	
		チームワークとモチベーションを考える ーキャリア教育を念頭にー (6 時間)	島袋 隆志	
		学校の変化と学習指導要領	黒木 義成	
選択	8/18 ※中止	多様なニーズを持った子どもの理解と家庭環境 の不安定さが子どもの将来のメンタルヘルスに	名城 健二	

		与える影響を考える～スクールソーシャルワークと精神保健の立場から（6時間）		
8/19 ※中止		子どもの貧困問題の理解と支援	山野 良一	
		小中学校の国語の授業づくりのために（物語文「お手紙」「故郷」を例に）（6時間）	喜屋武 政勝	
8/21 ※中止		英語教育の基礎知識－指導者に求められる理論と実践－	上原 周子 天久 大輔	
		いのちの輪を育てる保健教育・指導（6時間）	山代 寛	

#### （6）講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

学 科	教員数	派遣教員数	短期派遣	中・長期派遣	合計
経法商学科	27名	10名	3件	33件	36件
国際コミュニケーション学科	11名	4名	2件	3件	5件
福祉文化学科	16名	8名	26件	30件	56件
こども文化学科	9名	5名	11件	9件	20件
管理栄養学科	11名	8名	3件	15件	18件
その他（事務局参与等）		5名	2件	11件	13件
合 計	74名	40名	47件	101件	148件

#### （7）子供の貧困支援事業

2016年度に文部科学省より三年間の期間として選定された「私立大学研究ブランディング事業」を終えたあとも、引き続き子どもの貧困に関する研究支援と実践支援を行いました。2020年度の研究支援は個人で1件、班で1件それぞれ専門分野からの子どもの貧困にアプローチするテーマでの研究を行いました。実践支援として昨年度開催していた「放課後こくば教室」と「ジュニアジャズオーケストラおきなわ那覇イースト」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催をしませんでした。アフターコロナも見据え、放課後こくば教室の再開に向け、「子ども文庫」の図書を随時受け入れ、再開に対応出来るよう努めました。

#### 2020年度 子どもの貧困支援事業研究支援

##### 【個人研究】

	テーマ
1	貧困に立ち向かう教育実践に関する研究

##### 【共同研究】

	テーマ
1	ライフステージにおける子どもの相対的貧困と食環境・食生活・社会環境との関連に関する研究

【2020年度 子どもの貧困支援事業実践支援】

	開催日	事業名
1	通年	●放課後こくば教室 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催をしなかった
2	通年	●ジュニアジャズオーケストラ那覇イースト 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催をしなかった
3	通年	●こども文庫 in 沖縄大学アネックス共創館 本に接する機会の少ない子ども達が沖縄の児童文学作品に接する機会と環境を沖縄大学アネックス共創館に整えるため、寄贈を募り集まった図書を配架し、今後居場所として集まる子どもたちに提供を予定している。

(8) 「ちむぐるくるデイサービスお～きなわ」の実施

2013年度から本学内で実施しているデイサービス事業「ちむぐるくるデイサービスお～きなわ」は、2019年度から地域研究所の事業として位置づけています。ここでは地域の高齢者が毎週50名ほど訪れて、健康体操やレクリエーションを楽しんでいます。さらに学生のゼミ活動の場としても活用され、毎月4回のうち3回は那覇市社会福祉協議会が健康チェックなどで関与しますが、1回は学生たちの自主企画で運営されています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催しませんでした。しかし、参加登録していた方々には、週に1回電話で体調確認や生活面での悩み事などを聞き取りし、可能な範囲での対応を行いました。また高齢者の孤立を避ける為、開所・運営している施設を案内しました。

(9) 那覇市議会報告会の開催（中止）

2017年度から毎年度開催してきた那覇市議会報告会および市民との意見交換会については、新型コロナ感染症拡大防止の観点から実施を見送ることになりました。市民の声を市政に反映させるため、議員のかたがたが直接、市内各地（4会場）に出向き開催している同報告会について、学生や教職員、近隣市民に議会や市政に対する関心を喚起していく趣旨に沿い、今後とも那覇市議会議員と意見交換ができる場を提供できるよう取り組みます。

(10) 期日前投票（中止）

選挙の期日前投票会場を学内に設置（本館多目的教室）してきましたが、新型コロナ感染症拡大防止の観点から今年度の学内実施はありませんでした。学生、教職員や近隣住民の方々の投票を促すだけでなく、学生が選挙スタッフとして関わることで主権者教育の一環となってきたため、今後とも期日前投票会場が学内に設置できるよう努めてまいります。